

心臓血管外科学講座

氏名	所属	職名	取得学位	専門分野	主な論文・著作・業績
岡林 均	心臓血管外科学講座	教授	博士（医学）	心臓血管外科学・外科学一般	<p>①Hajime Kin, Kunihiro Yoshioka, Kohei Kawazoe, Masayuki Mukaida, Takeshi Kamada, Yoshino Mitsunaga, Akio Ikai, Hitoshi Okabayashi:Management of infectious endocarditis with mycotic aneurysm evaluated by brain magnetic resonance imaging European J Cardio-Thoracic Surgery 2013;924-930</p> <p>②Jota Nakano, Hitoshi Okabayashi, Hisashi Noma, Toshiya Sato, Ryuzo Sakata:The impact of incomplete revascularization and angiographic patency on midterm results after off-pump coronary artery bypass grafting J Thorac Cardiovasc Surg 2014;147:1225-32</p> <p>③Kenji Minakata, Ko Bando, Shiro Tanaka, Schuichiro Takanashi, Hiroaki Konishi, Yoshihiro Miyamoto, Kenji Ueshima, Shinji Yasuno, Yuichi Ueda, Yutaka Okita, Izuru Masuda, Hitoshi Okabayashi, Hitoshi Yaku, Yoshitaka Okamura, Kazuo Tanemoto, Koichi Arinaga, Yosuke Hisashi, Ryuzo Sakata:Preoperative Chronic Kidney Disease as a Strong Predictor of Postoperative Infection and Mortality After Coronary Artery Bypass Grafting Circ J 2014 ; 78:2225-2231</p> <p>④Shiomi h, Morimoto T, Makiyama T, Ono K, Furukawa Y, Nakagawa Y, Kadota K, Onodera T, Yakatsu Y, Mitsudo K, Kita T, Sakata R, Okabayashi H, Hanyu M, Komiya T, Yamazaki F, Nishiwaki N, Kimura T, CREDO-Kyoto Investigators:Evolution in practice patterns and long-term outcomes of coronary revascularization from bare-metal stent era to drug-eluting stent era in Japan Am J Cardiol 2014;113(10):1652-9</p> <p>⑤Komiya T, Ueno G, Kadota K, Mitsudo K, Okabayashi H, Nishiwaki NM Hanyu M, Kimura T, Tanaka S, Marui A, Sakata R, the CREDO-Kyoto Investigators:An optimal strategy for coronary revascularization in patients with severe renal dysfunction Eur J Cardiothorac Surg 2014 Nov 21; PMID:25416698</p>
猪飼 秋夫	心臓血管外科学講座	教授	博士（医学）	心臓血管外科学・小児外科学・外科学一般	<p>①Ikai A, Fujimoto Y, Ota N, Nakata T, Tosaka Y, Ide Y, Sakamoto K. Feasibility of the Extracardiac Conduit Fontan Procedure in Patients Weighing Less Than 10 Kilograms. J Thorac Cardiovasc Surg 2008;135:1145-1152.</p> <p>②猪飼秋夫：Unifocalization. Circulation visual best 心臓血管外科テクニク IV 先天性心疾患編（四津良平：総監修，坂本喜三郎：監修）。メディカ出版。250-254（2009）</p> <p>③Ikai A, Koizumi J, Kin H, Mukaida M, Takahashi S, Oyama K, Okabayashi H:Aortic translocation using the hemi-mustard procedure for corrected transposition: Ann Thorac Surg: 94(3)996-8（2012）</p> <p>④Ikai A, Koizumi J, Kanno K, Iwase T, Furutake T, Okabayashi HPermanent epicardial pacing lead implantation for scheduled multistage operations in Fontan candidate. Ann Thorac Surg. 2014 Jul;98(1):355-6</p> <p>⑤.Furutake T, Koizumi J, Iwase T, Kamada T, Takahashi S, Oyama K, Okabayashi H, IkaiArtery fistula causing aortic regurgitation in pulmonary atresia with ventricular septal defect and major aortopulmonary collateral arteries A. Ann Thorac Surg. 2015;99(5):e121-3.</p>
向井田 昌之	心臓血管外科学講座	講師	博士（医学）	心臓血管外科学・外科学一般	<p>①M Mukaida: Geometric Evaluation of Tricuspid Annuloplasty Using The MC3 Ring For Functional Tricuspid Regurgitation. Heart Valve Disease Forum 2014. Seoul Korea. August 2014.</p> <p>②M Mukaida, K Kawazoe, J Koizumi, T Kamada, J Tsuboi, A Ikai, H Okabayashi: 28th EACTS Annual Meeting. Aortic valvuloplasty for aortic insufficiency. Miran, Italy. October 2014.</p> <p>③向井田昌之: Onlay-patch graftを用いた冠動脈バイパス術の検討. 第19回日本冠動脈外科学会学術大会. 東京. 2014年7月</p> <p>④向井田昌之: 当センターにおける透析患者の冠動脈バイパス術の成績. 第18回冠動脈外科学会学術大会. 福岡. 2013年7月</p> <p>⑤向井田昌之: 急性解離性大動脈瘤の中枢側逆elephant吻合の臨床成績. 第44回日本心臓血管外科学会学術総会. 熊本. 2014年2月</p>

心臓血管外科学講座

氏名	所属	職名	取得学位	専門分野	主な論文・著作・業績
小泉 淳一	心臓血管外科学講座	特任講師	博士(医学)	心臓血管外科学・小児外科学・外科学一般	①小泉淳一, 猪飼秋夫, 岩瀬友幸, 古武達也, 那須友里恵, 中野 智, 早田 航, 高橋 信, 小山耕太郎, 小林隆史, 岡林 均: 小児大動脈弁疾患の治療戦略とその成績. 第51回日本小児循環器学会総会・学術集会. 東京. 2015年7月 ②小泉淳一, 猪飼秋夫, 岩瀬友幸, 古武達也, 那須友里恵, 中野 智, 早田 航, 高橋 信, 小山耕太郎, 小林隆史, 岡林 均: Fontan conversion による心不全改善効果. 51回日本小児循環器学会総会・学術集会. 東京. 2015年7月 ③小泉淳一: 乳児期ラステリ型手術における16mm自作3弁付きePTFE導管の中期遠隔成績. 第50回日本小児循環器学会総会・学術集会. 岡山. 2014年7月 ④小泉淳一, 猪飼秋夫, 菅野勝義, 岩瀬友幸, 満永義乃, 熊谷和也, 鎌田 武, 金 一, 坪井潤一, 向井田昌之, 岡林 均: 先天性僧帽弁閉鎖不全に対する外科治療とその中期遠隔成績. 第43回日本心臓血管外科学会学術総会. 東京. 2013年2月 ⑤小泉淳一: ファロー四徴症術後遠隔期の肺動脈弁閉鎖不全症に対する肺動脈弁置換術. 第44回日本心臓血管外科学会学術総会. 熊本. 2014年2月
鎌田 武	心臓血管外科学講座	助教	博士(医学)	心臓血管外科学・外科学一般	①鎌田 武: 急性A型大動脈解離におけるフィブリン糊を用いた中枢側解離腔断端形成と吻合法の検討. 第43回日本血管外科学会学術総会. 横浜. 2015年6月 ②鎌田 武, 岩瀬友幸, 熊谷和也, 満永義乃, 坪井潤一, 小泉淳一, 向井田昌之, 猪飼秋夫, 岡林 均: J graft open stent graft (JOSG) を用いたオープンステントグラフト(OSG)手術の経験. 第169回東北外科集談会. 仙台. 2015年6月 ③鎌田 武, 岩瀬友幸, 熊谷和也, 満永義乃, 坪井潤一, 小泉淳一, 向井田昌之, 猪飼秋夫, 森野禎浩, 岡林 均: 当院での経カテーテル的大動脈弁留置術の経験. 第169回東北外科集談会. 仙台. 2015年6月 ④鎌田 武: 大動脈縮窄症術後の仮性瘤に対しVascular Plugを用いた治療経験. 第1回北東北心臓大血管研究会. 秋田. 2015年6月 ⑤鎌田 武, 古武達也, 岩瀬友幸, 熊谷和也, 満永義乃, 坪井潤一, 小泉淳一, 金 一, 向井田昌之, 田中良一, 猪飼秋夫, 岡林 均: 腹部大動脈瘤に対する治療戦略 人工血管置換術VSステントグラフト内挿術. 第42回日本血管外科学会学術総会. 青森. 2014年5月
坪井 潤一	心臓血管外科学講座	助教	学士	心臓血管外科学・外科学一般	①坪井潤一: 大動脈弁置換術後の心房細動発症に対する塩酸ランジオロールに効果. 第44回日本心臓血管外科学会学術総会. 熊本. 2014年2月 ②坪井潤一, 古武達也, 岩瀬友幸, 熊谷和也, 満永義乃, 鎌田 武, 小泉淳一, 向井田昌之, 猪飼秋夫, 岡林 均: 大動脈弁置換術後の心房細動発症に対する塩酸ランジオロールの効果. 第67回日本胸部外科学会定期学術集会. 福岡. 2014年9月 ③坪井潤一, 中谷敬明, 岩瀬友幸, 菅野勝義, 熊谷和也, 満永義乃, 小泉淳一, 鎌田 武, 金 一, 向井田昌之, 猪飼秋夫, 岡林 均: Cognitive Function after Cardiovascular Surgery. 第43回日本心臓血管外科学会学術総会. 東京. 2013年2月 ④坪井潤一: 大動脈弁置換術後の心房細動発症に対する塩酸ランジオロールに効果. 第44回日本心臓血管外科学会学術総会. 熊本. 2014年2月 ⑤坪井潤一, 鎌田 武, 古武達也, 岩瀬友幸, 熊谷和也, 満永義乃, 小泉淳一, 金 一, 向井田昌之, 猪飼秋夫, 岡林 均: 縦隔気管孔および中枢側冠動脈に高度石灰化病変を発生した患者に対する心拍動下冠動脈バイパス術の1例. 第92回日本胸部外科学会東北地方会. 青森. 2013年9月

心臓血管外科学講座

氏名	所属	職名	取得学位	専門分野	主な論文・著作・業績
熊谷 和也	心臓血管外科学講座	助教	学士	心臓血管外科学・外科学一般	<p>①熊谷和也，古武達也，岩瀬友幸，満永義乃，小泉淳一，鎌田 武，坪井潤一，金 一，向井田昌之，猪飼秋夫，岡林 均：80歳以上の高齢者の重症大動脈弁狭窄症に対する大動脈弁置換術の手術成績。第114回日本外科学会定期学術集会。京都。2014年4月</p> <p>②熊谷和也：低左心機能症例に対する心拍動下冠動脈バイパス術の検討。第19回日本冠動脈外科学会学術大会。東京。2014年7月</p> <p>③熊谷和也，古武達也，岩瀬友幸，満永義乃，小泉淳一，鎌田 武，坪井潤一，向井田昌之，猪飼秋夫，岡林均：弓部全置換単独手術と複合手術との手術成績の比較検討。第67回日本胸部外科学会定期学術集会。福岡。2014年9月</p> <p>④熊谷和也：OPCABの早期及び遠隔期成績における予後規定因子としてのCKDの検討。第45回日本心臓血管外科学会学術総会。京都。2015年2月</p> <p>⑤熊谷和也，古武達也，岩瀬友幸，満永義乃，鎌田 武，坪井潤一，小泉淳一，向井田昌之，猪飼秋夫，岡林均：IE術後に非感染性による人工弁周囲逆流を生じた1例。第168回東北外科集談会。秋田。2014年9月</p>
近藤 良一	心臓血管外科学講座	助教	博士（医学）	外科学一般	<p>①近藤良一，井戸田佳史，ニルマル・パンティー，乾 明敏，尾崎晋一，木下 修，益澤明広，月原弘之，高岡哲弘，木村光利，山内治雄，縄田 寛，平田康隆，小野 稔，佐久間一郎：新しい冠動脈半自動吻合デバイスの研究。内視鏡下ウサギ頸動脈モデルにおける中間報告。第45回日本心臓血管外科学会学術総会（2015）</p> <p>②近藤良一，齋藤 綾，山内治雄，高岡哲弘，縄田 寛，益澤明広，梅木昭秀，安藤政彦，木村光利，木下修，平田康隆，木村 昇，小野 稔：過去15年間の感染性心内膜炎に対する治療経験。第44回日本心臓血管外科学会学術総会（2014）</p>
萩原 敬之	心臓血管外科学講座	助教	学士	外科学一般	<p>①萩原敬之，橘 一俊，田淵正樹，山下暁立，宮木靖子，高木伸之，樋上哲哉：In situ GEAグラフトにおける右冠動脈狭窄率の影響。TFMによるFlowpatternの検討。第45回日本心臓血管外科学会総会（2015）</p> <p>②萩原敬之，伊藤寿朗，小柳哲也，川原田修義，栗本義彦，樋上哲哉：動注カテーテル感染を契機に発症したMRS感染性腹腔動脈流に対しTEVARを施行した1例。第14回日本血管外科学会総会（2013）</p>

心臓血管外科学講座

氏名	所属	職名	取得学位	専門分野	主な論文・著作・業績
田林 東	心臓血管外科学講座	助教（任期付）	学士	外科学一般	<p>①田林 東, 小宮達彦, 恒吉裕史, 島本 健, 境 次郎, 平岡俊文, 川島 隆, 山中 憲, 和田賢二, 金子寛行, 藤本侑花, 古市吉真, 陣野太陽, 富永 磨: 術中トランジットタイム血流評価と術後稜骨動脈グラフトスパズムとの関連性. 第29回日本冠疾患学会学術集会 (2015)</p>